

みんなの広場



市内の企業などから約570人が参加した市民総踊り

いまり秋祭り 2019

令和へ引き継ぐ伊万里の秋

市街地でいまり秋祭り 2019 がありました。恒例のわっしょいパレードや市民総踊りのほか、市観光大使を務める池田輝郎さんや市民賞を受賞した篠崎大輔さんのステージなど、多彩な催しがありました。また、伊万里神社御神幸祭「伊万里トンテントン」では、模擬合戦や川落としが行われ観客は大きな歓声を上げていました。



祭りのオープニングを飾る伊万里子ども太鼓の会



ステージ前で披露された迫力のある模擬合戦



伊万里高校書道部による令和記念パフォーマンス



伊万里市観光大使池田輝郎さんのステージ

子ども観光ガイド

これが私たちが誇る郷土の魅力です

子どもたちが郷土に愛着を持てる学習機会を提供しようとしている『子ども観光ガイド育成講座』。その総仕上げとなるガイドの実践が大川内山でありました。8月から10月まで、伊万里の歴史を学習し、ガイドの練習を続けてきた市内の9人の児童は、藩窯秋祭りに訪れた観光客を相手にガイドに挑戦。秘窯の里の魅力を一生懸命伝えました。



11.3

↑大川内山の主な見どころを案内する児童

伊万里未来プランナー養成講座

大切にしている『想い』は何ですか

将来のまちづくりを担う人材の育成を目的に、伊万里未来プランナー養成講座がPORTO 3316 IMARI でありました。参加した14人の高校生は、参加者相互の、あるいは伊万里の先輩へのインタビューを通じて、それぞれの大切にしている『想い』を引き出し、これを軸に未来新聞を作って、将来の伊万里を思い描いていました。



10.19

↑相互インタビューで自分の『想い』を語る参加者

市文化祭『合同芸能発表会』

文化の秋を楽しむ一日

市民センターで市文化祭『合同芸能発表会』がありました。文化ホールでは、市内の15団体が大正琴や民舞、フラダンスなどを披露。日頃の熱心な活動の成果だけにどの団体もハイレベルで、会場は大きな拍手に包まれていました。また、館内では文学色紙短冊展や書藝展なども開催されており、訪れた人は文化の秋を楽しんだようでした。



カ。ナニ。アーイナフラスタジオ伊万里のフラダンス



↑伊万里ジュニアバレエのかわいいバレリーナ



↑三味線の長唄春秋会と箏のT・S・Sが合同演奏

火災初動対応競技大会

いざというとき慌てないように

伊万里消防署で火災初動対応競技大会がありました。事業所での火災初動対応力の向上を目的に、市防火協会および危険物安全協会に加入する市内の9事業所、14チームが参加。119番通報や消火器での初期消火、要救助者の救出などの迅速性や的確性を競いました。審査の結果、株式会社名村造船所の名村Aチームが優勝を果たしました。



↑優勝した名村Aチームの競技の様子

第15回ボランティアまつり～ふれあい広場～

ボランティアで幸せな社会に

市民センターで、ボランティアまつりがありました。これは、市民との交流を通じてボランティア活動への理解と参加促進を目指して、市ボランティア連絡協議会と市社会福祉協議会が毎年開催しているものです。会場では、アイマスク・高齢者疑似体験やボランティア喫茶、ステージ発表などが行われ、今年も大勢の参加者でにぎわいました。



アイマスクを着用して目が不自由な人の疑似体験をする様子



↑にぎわいを見せるふれあいバザー

伊万里有田法人会が市に寄贈

これからも地域のために続けたい

伊万里有田法人会が地域社会貢献活動の一環として、展示パネル5台を寄贈しました。同会は平成10年から20年以上に渡って血圧計や車椅子など、現場の要望を聞いて寄贈を続けています。吉原弘雄副会長は「市民の皆さんに喜んでもらおうと思って贈りました。地域のために活用してほしいです」と話しました。



↑寄贈した展示パネルの前で深浦市長と握手を交わす白川副会長（右）と吉原副会長